

# 古街道通信

発行 者：古街道PJ事務局  
発行 日：令和4年11月吉日  
発行責任者：朝倉 俊昭



## 安全・安心な合谷ルートに!

10月9日(日)。13名が参加して、合谷ルートの危険個所の整備と草刈りを行いました。



今日は、昨年までに整備した合谷口から城山山頂までの登山道の保守作業を行います。



昨年の整備が終わってから、すでに1年以上経っているため、登山道のあちこちに傷みが出てきており、道の谷側が削れていたりして、誤って足を踏み外して山の斜面に転げ落ちそうな大変危険な個所もありました。

昨年の整備が終わってから、すでに1年以上経っているため、登山道のあちこちに傷みが出てきており、道の谷側が削れていたりして、誤って足を踏み外して山の斜面に転げ落ちそうな大変危険な個所もありました。



沢蟹は捕っていません。



登山道の途中で草が生い茂っているところは、草刈り機を使って登山道がわかるように整備しました。



渡り心地はいかがですか?



それらの所では、麓から持ってきた木の杭や道の脇の雑木を伐採して道の補強をしました。また、登山者の方たちが楽にすれ違えるように道の山側の土手を削って道を広げたりしました。



山道の補修作業や草刈りをしながら、山頂に続くつづら折りの坂を息を切らせながら登って行くとようやく、202mの山頂にたどり着くことができました。63歳にして初めての山頂です。疲れたあ〜!



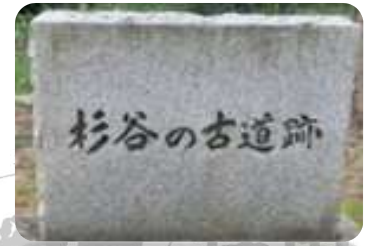


# 社清明南

今回は、大宝律令で北陸道に設けられた駅（30里（現在の約4里）毎に設置）の一つである、「阿味駅」についてお話ししたいと思います。

「阿味駅」とはいったいどこなのか？その謎について、調べてみました。

大宝律令では、北陸道は小路でCクラスであったことから、駅（4里ごとに1駅を設置）には駅馬が5頭しかいなかったみたいですが、平安時代中期に編纂された格式（律令の施行細則）である延喜式によると、その駅は、若狭国との分岐点となる松原駅（敦賀市）から始まって、鹿森駅（南越前町帰）・・・朝津（福井市浅水、旧麻生津村）、阿味（安味）（不明）、足羽（福井市九十



（古街道PJ会発足のきっかけとなった石碑）



（「道守荘」古地図）

九）・・・加賀国朝倉駅と続いています。不明である阿味駅はどこか？という探求心から、朝津駅から4里（約16Km）ということは、もしかすると私たちのこの社南や清明地区ではないのかと思い調べてみたところ、諸説はあるものの歴史家の先生達でも未だにその場所の特定ができていませんでした。しかも、諸説の中に私たちの町がなかったのです。

納得がいかなかったので、どうしても、その場所が私たちの住んで居るこの町であったことの手がかりを見つけたいと思案したところ、「阿」や「味」の漢字で思い当たったのが、東大寺の正倉院に保存されている古地図の「道守荘」にかれている「味間川（あじまがわ）」（現在の「日野川」の名称）でした。

もしかすると、ここにヒントがあるのかも知れません。

山とか川とかいった、自然としてのランドマーク的なものは時間が経っても、その場所も人々の思いも変わるものではありませんが、人が住む町は時とともに、その場所も人々の思いも変わるものです。

そういう思いから、謎の多い「阿味駅」は、今、私たちが住んで居るこの場所にあって、人々の往来した街道があり、人々の賑わいがあったということ、前向きな想いと希望とある程度の確信を持って、このプロジェクト会から地域の人たちに発信し広めていければ素晴らしいと思います。（田嶋 則次）

## 1 2 これからの活動予定

これからの古街道整備計画、役員会等の活動及び開催予定についてお知らせします。

### 整備計画

- 12月4日（日）  
（看板の設置及び整備）

### 役員会等

- 11月25日（金）17:00（清明公民館）
- 12月の開催は、11月25日の役員会で決定のため、未定。



## 編集後記

大変寒くなってきて、コロナも第8波に入り、さらにインフルエンザも発生しているということで、みなさま、お身体には十分お気をつけください。

古街道通信もようやく第7号の発行となり、どうかこうにか当初の目標の月一のペースで皆様にお届けすることができました。

また、今年の整備作業も残りわずかとなりましたが、精いっぱい頑張りたいと思いますので、よろしくお祈りします。（thousand fall）（バックナンバー）

